

【活動報告】令和5年度福岡県介護予防推進指導者養成研修

介護予防推進指導者養成研修が、今年度も実施されました。この研修会は、福岡県の医療介護総合確保基金事業として、福岡県理学療法士協会、作業療法士協会、言語聴覚士会の3士会へ委託される事業です。本年度は福岡県言語聴覚士会がホストとなり、研修の企画、実施を行いました。

今回の研修の受講対象者は、リハビリテーション専門職、行政職員となっております。受講者の職種が増えることで、介護予防や地域事業関連に携わるうえで多角的な視点、意見を感じることができます。

研修のテーマは「住み良い社会を作る予防と共生」としました。そのテーマに則って、本研修は、①動画視聴研修、②対面研修の2段階構成として企画しました。

【動画視聴研修】 テーマ：フレイル予防のために療法士が果たすべき役割

- ・「ヒアリングフレイル予防について」

中川 尚志 先生；九州大学大学院医学研究耳鼻咽喉科学教授

- ・「身体的フレイルの予防について」

永井 宏達 先生；兵庫医科大学リハビリテーション学部理学療法学科

- ・「オーラルフレイルの予防について」

鈴木 瑞恵 先生；大和大学 総合リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻

3名の講師に、フレイル予防におけるリハビリセラピストに求められる役割についての研修を行っていただきました。フレイル関連の講義は身体的フレイルもさることながら、言語聴覚士会が企画することによってヒアリングフレイルやオーラルフレイルといった内容の企画をすることができました。受講者からも、普段はなかなか聴講できない内容であったとご好評いただきました。

【対面研修】 福岡ファッションビル 大ホール

テーマ；住み良い社会を作る予防と共生～地域共生社会実現のために療法士が果たすべき役割～

- ・「認知症当事者と考える地域共生社会の創造」

丹野 智文 様；おれんじドア代表

- ・「地域共生社会実現のために療法士が果たすべき役割」

安本 勝博 様；津山市役所健康増進課

岸本 直子 様；備前市役所介護福祉課

久保 かおり様；北九州市保健福祉局健康医療部 健康推進課

対面研修は福岡ファッションビルで行いました。講師には若年性認知症の診断を受けられた当事者の丹野様、行政機関で働かれるリハビリテーション専門職の安本様、岸本様、久保様にご登壇頂き、熱量のあるご講演を頂きました。認知症を抱えながら日々のケアを考える丹野様の講演は、私たちの常識を覆されるようなご意見や、ケアを行う視点の工夫などについてご講演頂きました。また、安本様、岸本様、久保様は行政でご活躍のリハビリテーション専門職であり、行政にいるからこそのご意見を発表頂きました。

コロナ禍にて敬遠されていた対面研修を久しぶりに再開した対面研修でしたが、講師の臨場感溢れる話を聴講でき、対面研修にして本当に良い研修となりました。

座学の研修も大いに必要ですが、ディスカッションをかわせるような、躍動感あふれる研修企画を、今後も続けたいと思います。皆様、いつでも奮ってご参加ください。



(上) 研修会場の様子

(左) 【運営スタッフ】
地域包括ケア推進局

地域リハビリテーション
サポート委員会 (ちいサ
ポ委員会)